

小学校学級経営の現状と展望 (Ⅱ)

福田 啓子

(平成13年10月4日受理)

Class Management of Elementary School, Today and Future (Ⅱ)

Keiko FUKUDA

(Received on October 4, 2001)

キーワード：学級経営，児童理解

Key words：class management, understanding child

はじめに

教育課程の改訂により、「特色ある学級」「開かれた学級」の推進が求められている。各小学校では、子どもの主体性や個性重視の学級経営が新たな課題となり、その実践方法や環境づくりの工夫が必要とされている。

学級(クラス)経営の充実を図るためには、物的条件もさることながら、学級担任教師が何より児童を理解していることが大切なことである。「小学校学習指導要領解説 総則編」(平成11年5月)では、「第3章教育課程の編成及び実施」の中で“児童の心身の発達段階と特性を十分把握して、教育課程に反映させることが必要である”と述べられ、学級内においても児童の実態(能力、適性、興味、関心、性格)把握が重要なことであることを示唆している。

前稿においては、小学校学級経営の現状を捉える手がかりとして、児童や教師の問題となる事項を明確にし、それらに対する教育改革の施策状況を述べた。そして、学習や生活の場でもある実際の学級(クラス)の中での、児童の意識や行動を調査し、現在の学級経営のあり方についてひとつの方向性を見出してきた。

そこで、本稿では、再度児童の意識調査を行ない、その結果を前稿と比較検討することにより、変化や共通点を探り、児童の意識や行動をより明確にしていきたい。そして、これらの結果を担任教師は、どのように受けとめ、指導していくべきか、課題克服のための留意すべき

児童学科

点や新たな学級経営実践への方策を考えていきたい。

方法

- ・対象 都内4校の第4学年(男子49名, 女子54名)
 - ・期間 平成13年7月
 - ・以下の質問事項と選択肢を設定し、評定を行った。
 - 1 友人に関する事項
「クラスには、どのような友だちがいますか」
 - ① 休み時間、いっしょに遊ぶ友だち
 - ② 好きな友だち
 - ③ 安心して何でも言い合える友だち
 - ④ 嬉しいことがあった時一緒に喜んでくれる友だち
 - ⑤ 善くないことをした時、注意してくれる友だち
 - ⑥ 忘れ物をした時、貸し借りをする友だち
 - ⑦ よく電話をかける友だち
 - ⑧ 困っている時、相談にのってくれる友だち
 - ⑨ 一緒に宿題をしたり、勉強したりする友だち
 - ⑩ 学校で、トイレに一緒に行ったりする友だち
(aたくさんいる, bわりといる, c2~3人いる, d1人はいる, e今のところいない)
- 「友だちとはどのようなことをしますか」
- ① 年賀状や休み中に手紙を出す
 - ② 電話をかける
 - ③ おはようなどの挨拶をする
 - ④ 放課後一緒に遊ぶ
 - ⑤ 放課後友だちの家に行き遊ぶ
 - ⑥ 休みの日に一緒に遊ぶ
 - ⑦ マンガなど貸したり、借りたりする

- ⑧ 休みの日電車やバスで遠くまで出かける
(a 何回もある, b 2～3回ある, c 1回はある,
d 今のところない)

2 学級の状況に関する事項

「クラスのすばらしいことはどのようなことですか」

- ① よく遊ぶ
② 楽しい
③ 笑い声が多い
④ 先生ととても仲よし
⑤ よく勉強したり, 運動する
⑥ まとまりがある
⑦ 勉強熱心
⑧ 約束を守る
⑨ 授業中, よく手をあげる
⑩ 男女の仲がいい
(a とてもそう思う, b どちらでもない, c ぜんぜん
そう思わない)

「クラスの様子はどのようですか」

- ① 係の仕事をする子が多い
② 授業中, 隣や後ろの子とむだ話をする子が多い
③ 先生に注意されたら, すぐにやめる
④ 休み時間, 先生のまわりにすぐ子どもが集まる
⑤ 失敗したりすると, すぐ冷やかされたり, 笑ったりする子が多い
⑥ 昼休み, 自分の好きな子だけで遊ぶ子が多い
⑦ 休み時間, 教室でぶらぶらしている子が多い
(a とてもそう思う, b どちらでもない, c ぜんぜん
そう思わない)

3 学級に対する意識に関する事項

「学校にくるのが楽しみですか」

- (a とても楽しみ, b わりと楽しみ, c 少し楽しみ,
d あまり楽しみではない, e 楽しみではない)

「今のクラスになって良かったですか」

- (a とてもよかった, b わりとよかった, c 少しよか
った, d あまりよくなかった, e よくなかった)

「今のクラスがすきですか」

- (a とても好き, b わりと好き, c 少し好き, d あま
り好きではない, e 好きではない)

4 学級でのタイプに関する事項

「自分をどんなタイプだと思っていますか」

- ① 仲よしの友だちが多い
② 苦しいこともがまんできる
③ スポーツが得意
④ きまりを守る
⑤ 活発に活動する
⑥ 忘れ物が少ない
⑦ 勉強が得意
⑧ 他のクラスの子と遊ぶことが多い
⑨ クラスで人気がある
(a とてもそう, b わりとそう, c あまりそうでは
ない, d ぜんぜんそうではない)

結果および考察

ここでは, 調査した結果について, A (平成11年度), B (平成13年度) 比較しながら検討する。

図1, 2は, <友人に関する事項>について, 内容別に人数と割合を示したものである。

クラスにどのような友だちがいるか(図1)では, A (平成11年度), B (平成13年度)を比較すると, 全体的には, ほぼ同様な傾向がみられるが, Bでは, 各項目について「たくさんいる」「わりといる」と答えた人数の割合が多くなっていることがわかる。

また, Aでは「休み時間一緒に遊ぶ友だち」が最も多く, 「たくさんいる」は半数以上「わりといる」とあわせると87.5%となっているのに対し, Bでは, 「好きな友だち」が「遊ぶ友だち」より増加しているのが特徴的である。

友人との行動(図2)に関しては, A, B共「手紙を書く」「電話をかける」「あいさつをする」「一緒に遊ぶ」などが高い値を占めている。Bでは, 「休みの日に遊ぶ」「電車やバスで遠くへ出かける」友だちが比較的增加, 行動範囲に若干広がりもみられるが, 各項目については, 「今のところいない」と応えた児童が増えていることに気づく。

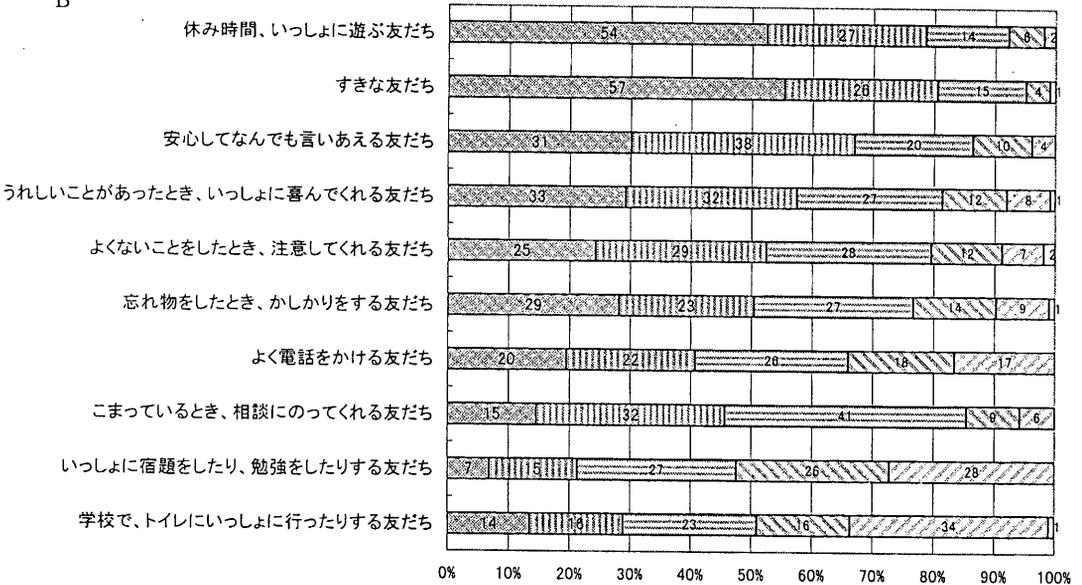
図3, 4は, <クラスの状況に関する事項>について, 示したものである。

小学校学級経営の現状と展望（Ⅱ）

A



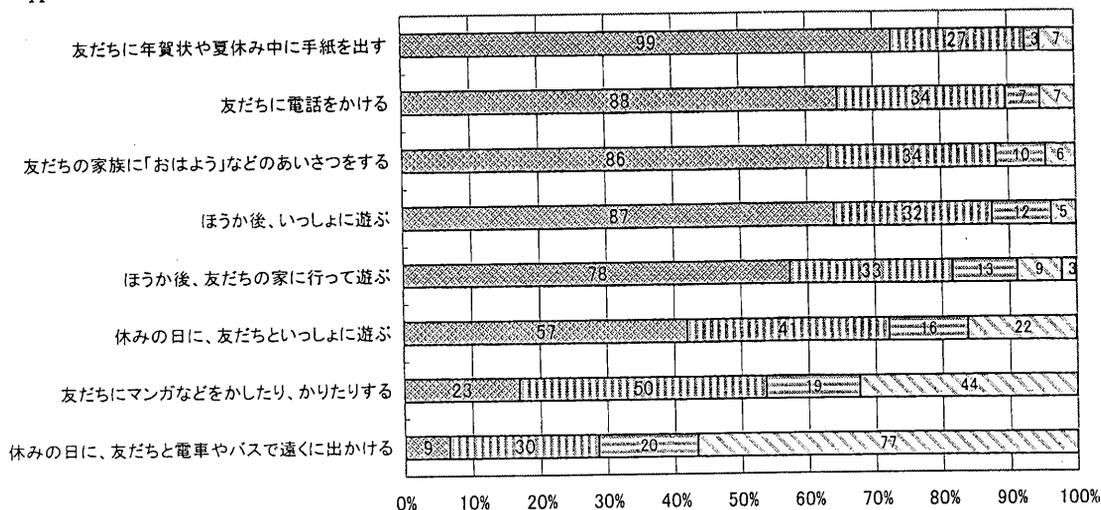
B



回たくさんいる 回わりという 回二～三人いる 回一人はいる 回今のところいない 回無回答

図1 友人に関する事項(1)

A



B

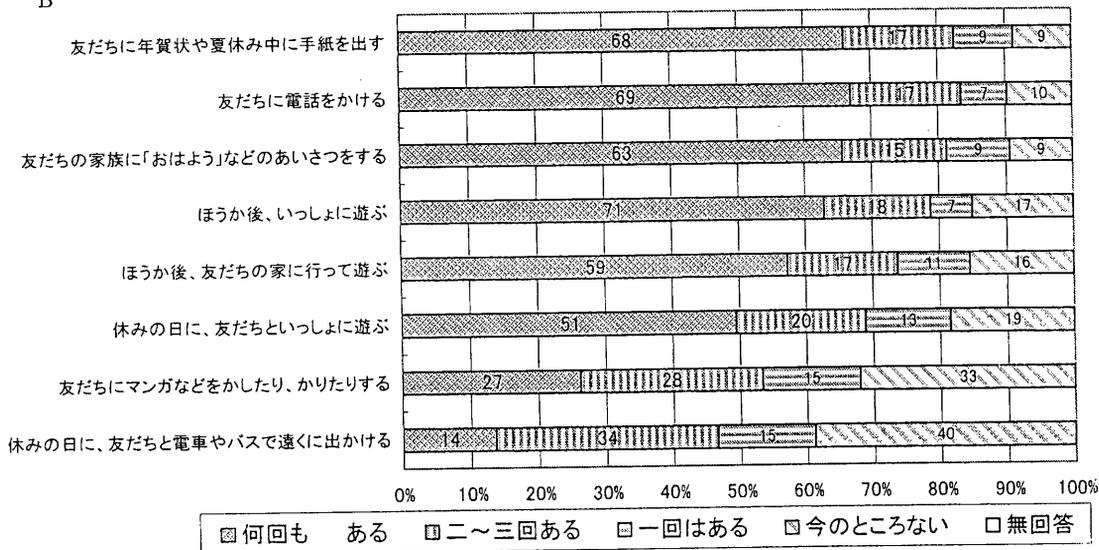


図2 友人関する事項(2)

クラスのすばらしいこと(図3)では、A、B共「よく遊ぶこと」「楽しいこと」「笑い声の多いこと」が高い値を占めている。Bにおいては、特に「先生ととても仲よし」の「とてもそう思う」が62.5%から88.3%と増えていることが注目される。また、減少傾向がみられたのが、「勉強熱心」32.4%から14.6%、「約束を守る」30.1%から9.7%と半分以下に減っている。「まとまりのあるクラス」

では、「ぜんぜんそう思わない」が、10.2%から25.7%に増加している。

クラスの様子(図4)では、Aでは、「係の仕事をしっかりする子が多い」と感じている児童が最も多く、「とてもそう思う」が63.2%を占めていたのに対し、Bでは、19.4%と激減している。「どちらでもない」「そう思わない」が、それぞれ33.8%から68.9%、2.2%から11.6%

小学校学級経営の現状と展望(Ⅱ)

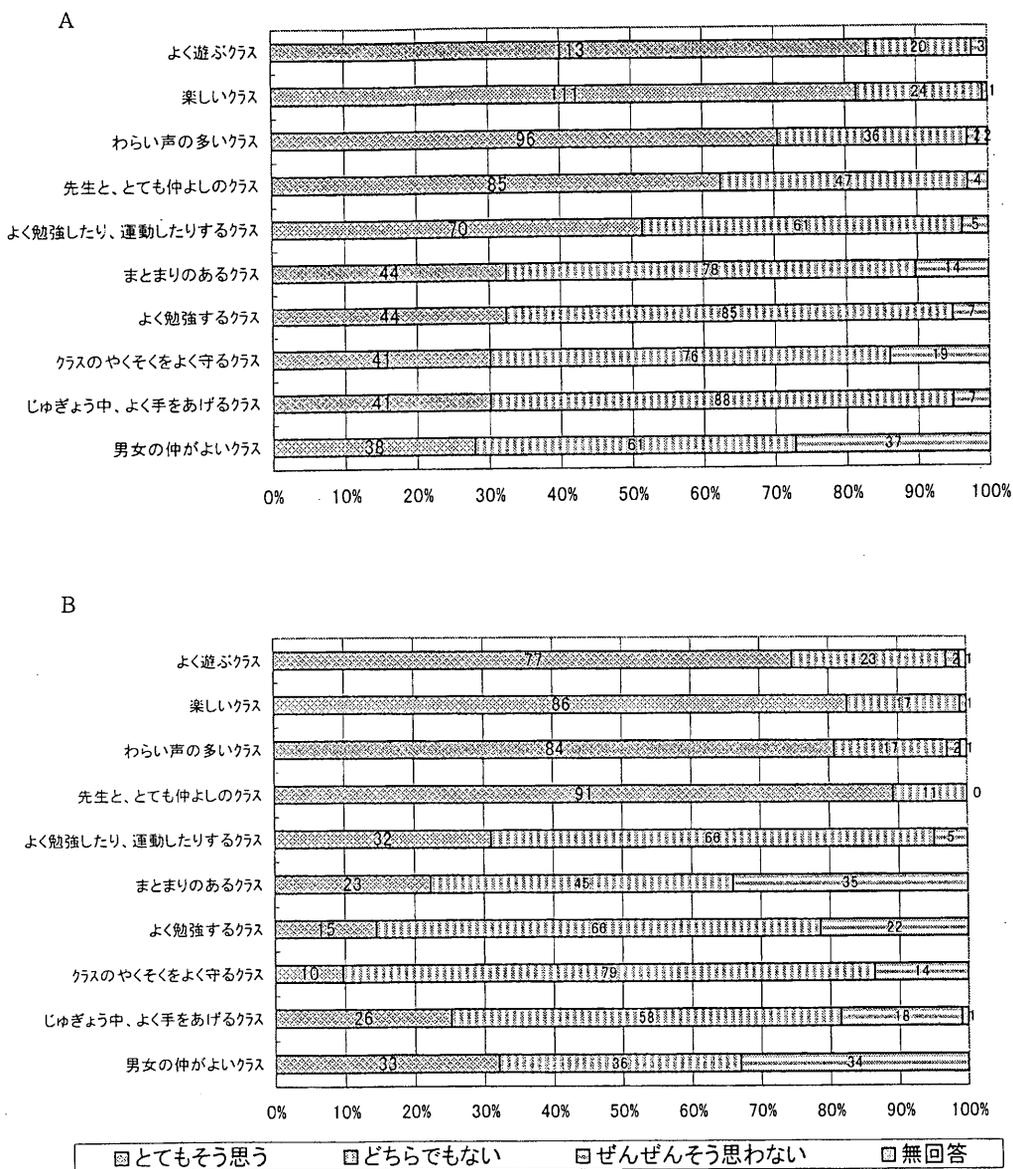


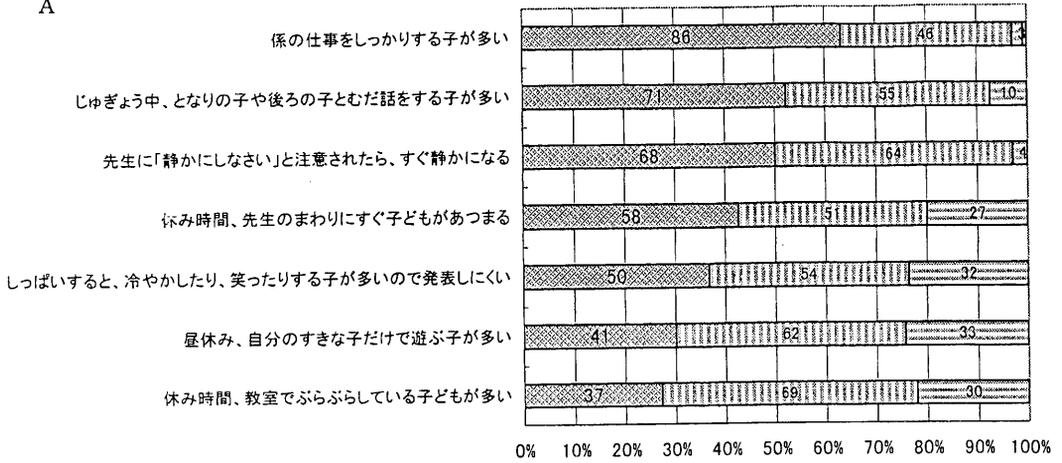
図3 学級の状況に関する事項(1)

に増加している。

また、A B共「授業中、むだ話をする子が多い」と感じている児童が多いが、Bでは、「先生に注意されたらやめる」は減少しながらも、「先生のまわりにすぐ集まる」は増加している。担任教師への親しみは感じられるが、そこには、教師との関わりにひとつの問題提起を与えているといえるだろう。

さらに「休み時間、自分の好きな子だけで遊ぶ」「教室でぶらぶらしている子」は、それぞれ30.1%から55.3%、27.2%から44.7%と増加している。図1の活発によく遊ぶ友人が多かったことに反して興味深い結果である。

A



B

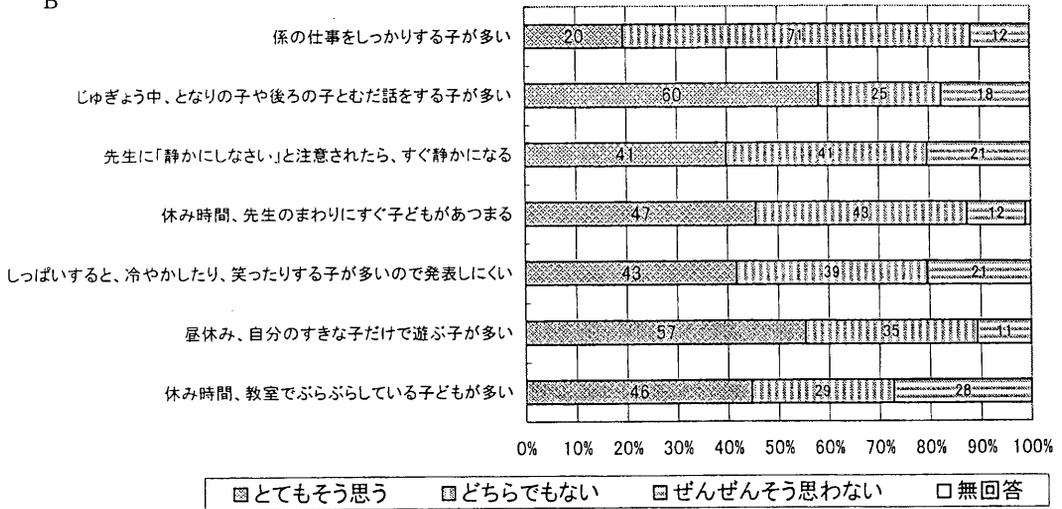


図4 学級の状況に関する事項(2)

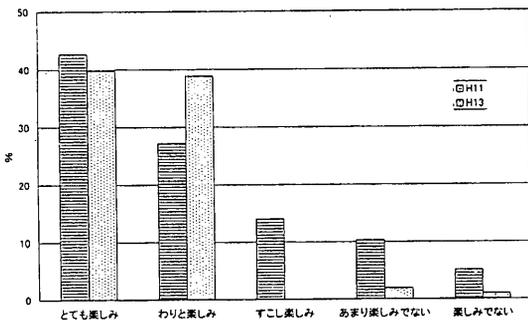


図5 学校に対する意識

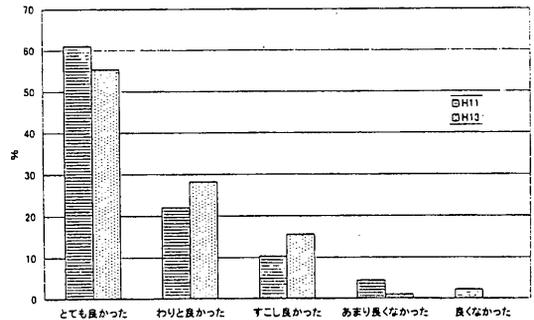


図6 学級に対する意識(1)

小学校学級経営の現状と展望(Ⅱ)

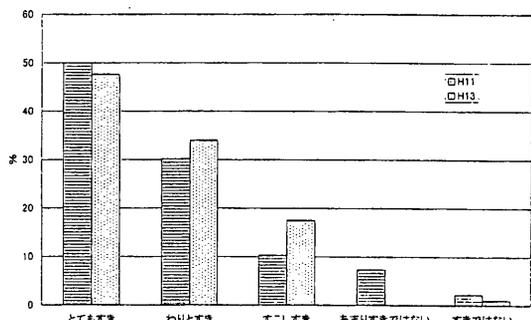
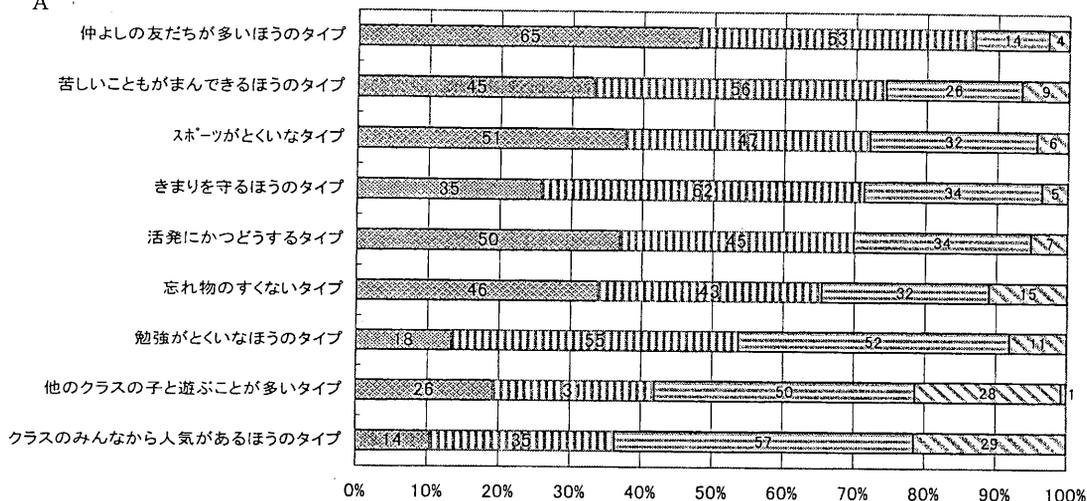


図7 学校に対する意識(2)

図5, 6, 7は、「学校に来るのが楽しみか」「今のクラスになってよかったか」「自分のクラスが好きか」を示したものである。ここでは、前回と同様、ほとんどの児童が学校を楽しいと感じ、クラスにも満足していることがわかる。特にBでは、「とても楽しい」「とても良かった」「とても好き」が多くなっていることに加えて、否定的な児童は、減少している。

図8は、クラスの中で自分はどのようなタイプかを示したものである。「仲よしの友だちが多い」「活発である」「スポーツが得意」は、相変わらず多くなっているの対

A



B

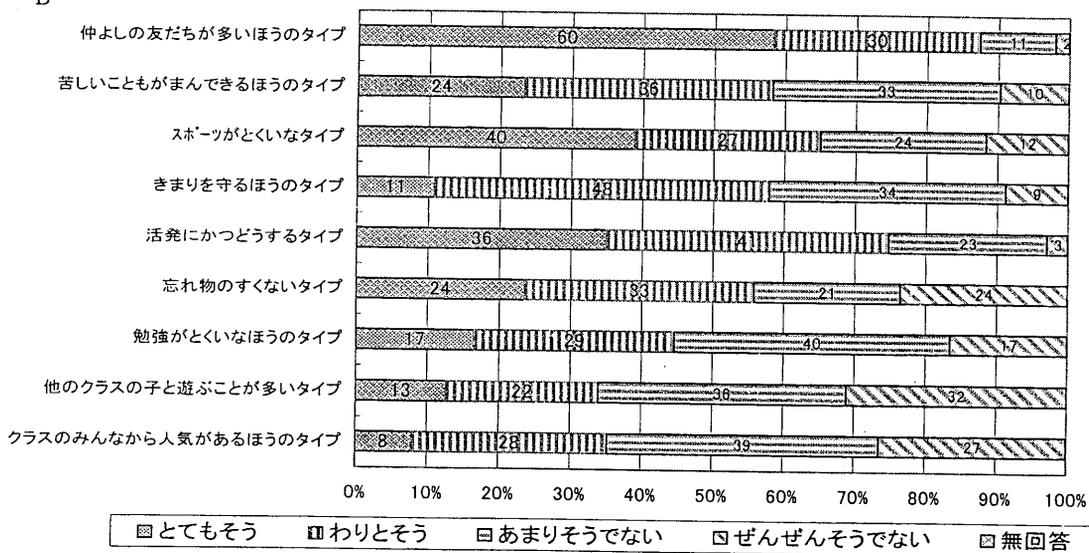


図8 学級内のタイプに関する事項

し、「苦しいこともがまんできる」「きまりを守る」「忘れ物が少ない」といったことは、減少している。

男女別にみると、男子は「活動的である」、女子は「忍耐強い」ということが多くみられる。

全体的にみると、前回と比較し、微妙な変化はあるものの、大差はなく、問題とされるような児童の意識や行動もほとんどみられなかった。学校生活の中で遊びや友だちとの交流を楽しいものと捉え、自分を活発で活動的、友人とも仲よしと感じている児童が多くみられた。

今回の特徴としては、交友関係においては、若干ではあるが、行動範囲の広がりや親密感が増していることがあげられる。しかしながら、クラスの状況において、規則や規律を守ることや学習意欲が低くなっていることは注目せねばならない。また、児童の意識に、個人差がみられたこともひとつの問題提起として受けとめなければならないだろう。

いずれにせよ、学級のもつ雰囲気や友人関係、教師との関わりにおいて、それぞれ行動や意識は違っているもの、やはり、学校や学級は、楽しい場所であり、友人と仲良くすること、先生との触れ合いを求めているものだということを痛感した結果であった。

おわりに

以上、調査結果を中心に現在の児童の実態を明確にしてきた。児童は本来、友人との交流を楽しみ、何より、担任の教師との触れ合いを求めているものである。それらの関係が安定していることにより、心の安らぎと健全な成長が可能となるのである。そういった意味において、担任教師は、常に児童が満足し、学習や生活が遂行され

る人間関係や環境づくりに努めなければならない。そして、そのためには、児童の日々の生活や学習の観察、記録をとることにより、児童の意識、感情、行動などを的確にとらえることが大切なこととなるのである。

特色ある学級づくりが進められ、教師自身、地域の特色や子どもの実態について把握し、客観的データに基づいた指導が強く求められるだろう。現在の社会的、教育的条件の中で、児童の何をどのように把握していくことが必要なのかを十分検討し、学校、家庭、地域との連携をとりながら学校全体で計画的、組織的に実施していくことが望まれる。

近年、教師の意識低下や問題ある行動が話題となっているが、今後の課題は、今回の結果を、担任教師がどのように、理解し、対応していくかを追跡していくことにより、児童と担任教師の関わり方を捉えていきたい。

註

- 1) 福田啓子 「小学校学級経営の現状と展望」
東京家政大学研究紀要 2000年2月

参考文献

- 1) 安彦忠彦 編「小学校新学習指導要領 解説と展開」
教育出版 1999年7月
- 2) 甲斐規雄「教育経営」 酒井書店・育英堂
2001年9月
- 3) 佐々木昭「学級経営の研究と実践」
教育開発研究所 1997年6月

Summary

With the revision of the educational curriculum, the Ministry of Education, Culture, Sports and Technology is requesting at teachers to establish classes with originality and relationship to local communities. It is necessary to take in various ideas to manage the classes of elementary schools to conform to the request. The most important point is a consideration for children's satisfaction to their school lives and education programs. It is obvious that teacher's understanding of children is crucial to have better result.

This paper aims to show the management method to accommodate the recent circumstances by understanding children.

We made investigation into children's behavior and opinion to the class management, and compared them with the result of previous investigation in 1999.